

平成19年度 収支決算書

歳入

(単位：円)

款	項	目	金額	内訳 (節内訳を記載すること)
県支出金	教育費 県補助金	教育費 県補助金	57,000	県補助金
町費			58,880	町費
	計		115,880	

歳出

(単位：円)

款	項	目	金額	内訳 (節内訳を記載すること)
教育費	教育総務費	教育振興費	115,880	報償費 本委員会・巡回相談謝礼 旅費 本委員会・巡回相談旅費
	計		115,880	

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成20年3月31日

安土町長

津村 孝



事業実施計算書

市町村名 安土町

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	105,000	特別支援教育推進事業 委員謝礼 本委員会 5,000円×4人×2回 巡回相談(学校) 10,000円×5回 巡回相談(園) 5,000円×3園
	旅費	10,880	特別支援教育推進事業 委員旅費 本委員会 1,440円×2回 800円×2回 640円×2回 巡回相談 1,440円×3回 800円×1回
	消耗品費		
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	保険料		
	雑役務費		
	使用料及び賃借料		
合計	(A)	115,880	
		[補助金額 (A)×1/2]	57 千円

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 

管内区域 

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況)




②取り組みの現状と課題
(現行実施事業の概要および効果性等から見た課題)

特別支援教育推進として、IEP(個別教育計画)委員会を設置し、軽度発達障害児の相談とアセスメント、診断および指導計画の策定と指導の実施、指導計画の構築を図るが、ニーズの実態把握を正確に把握し、保護者や教職員が、見方を同一方向でできる取り組みが大切である。

③今回計画の方針等
(上記①および②をふまえ、本事業を計画することとした理由や改善点など)

特別支援教育推進として、IEP(個別教育計画)委員会を設置し、巡回指導を通して、就学前や、保幼を訪問して、実態を正確に把握した上で、軽度発達障害児の相談とアセスメント、診断および指導計画の策定と指導の実施、指導計画の構築を図るためにも本事業を生かして取り組んでいきたいと考えています。

事業の内容

名 称	特別支援教育推進事業		
対 象	軽度発達障害児		
内 容 (テーマ)	相談とアセスメント、診断および指導計画の策定と指導の実施、指導計画の構築を図るとともに交流活動の実施		
参加者 (うち児童生徒数)	100人 (幼保20小20中10計50)人	人 ()人	人 ()人
実施場所			
開催期間	平成19年 4月 1日 平成20年 3月 31日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日 平成 年 月 日
開催時間	2 時間	時間	時間
事業実施後に期待すること	指導方法・相談内容など管内区域外の情報交流など期待する		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

